

調停 情報シート

調停は、障害を持った生徒や障害を持っている可能性がある生徒の教育についての意見の相違を解決するために中立の第三者(プロの調停者)が会議に参加することに親と学校が同意した会議です。調停は、親や学校との間に意見の相違がある場合はいつでも利用可能です。調停の前に苦情を申し立てたり、正式なプロセスを経る必要はありません。調停には数時間かかることがありますので、親や学校はこの会議のために1日予定を空けておく必要があります。

調停の利点は何でしょうか。

親と学校:

- 生徒に集中できます、
- 結果をコントロールできる、
- 合意に達した時に、結果に満足できる、
- 他者の立場をより深く理解できる、
- より迅速に問題を解決することができる、そして
- その対価を払う必要がない。

どのように調停者に頼みますか。

親と学校:

- 調停者に頼むことに同意します、
- 特殊児童局に問い合わせます。誰でも問い合わせることができます、
- 特殊児童局の紛争解決課に 877-644-6338 まで電話して調停/円滑化コーディネーターを求めることができます、
- プロセスについての説明を受けて、調停/円滑化コーディネーターに質問します、
- 調停者の選択方法、および利用可能な調停者についての情報の取得方法を説明した調停/円滑化コーディネーターからの手紙を受け取ります、
- 調停者に同意し、特殊児童局に誰を選択したかを知らせます。特殊児童局は選択された調停者を割り当てます、
- スケジュールを手助けする調停者から連絡がきます、

- 州不服申立てが行われた場合や正式なヒアリングが求められた場合はいつでも調停を受けます、そして
- 調停を求めるのに正式なヒアリングや不服申し立てをする必要はありません。

会議では何が行われますか。

親と学校:

- 何が問題であり、どのような解決策が可能かについて調停者と話し合います、
- 解決すべき問題についての書面による合意を得ます、
- どちらかが合意に違反した場合は合意を執行するために裁判を行うこともあります、
- 調停プロセスを評価するように求められ、特殊児童局がプロセスを改善するのを調停者が支援するよう求めます。



ODE 連絡先情報